



第8講 デジタル・デバイス

目次

1. デジタル・デバイドとは
2. デジタル・デバイドによる問題
3. 解決方法



デジタル・デバイス

- ◆ 情報通信技術を使える人と使えない人の「差」
- ◆ 手に入れることのできる情報量とその質の「差」



情報格差

例：パソコン・スマホを持っている人or持っていない人



有効に使っている人or使っていない人

1. デジタル・デバイスとは

デジタル・デバイドの種類

1. 個人間・集団間
2. 都市部と地方部
3. 国際間

1. デジタル・デバイドとは

デジタル・デバイドの種類

1. 個人間・集団間

- 学校・企業など一定のグループで生じる差
- 年齢、学歴、収入など身体的・社会的条件

例: 高齢者、収入差による機器の種類

1. デジタル・デバイドとは

デジタル・デバイドの種類

2. 都市部と地方部

- 都市部には十分なネットワーク
- 日本では過疎化地域と格差大

3. 国際間

- 先進国と発展途上国に生じる差
- 国家予算や教育の違いが要因

1. デジタル・デバイドとは

デジタル・デバイドによる問題

1. 教育格差
2. 緊急時対応の格差
3. IT人材の流出・不足
4. 高齢者の孤立化

2. デジタル・デバイドによる問題

1. 教育格差

- ネット・Wi-Fi環境のない家庭
- IT端末のスペックの違い

2. 緊急時対応の格差

- 災害や犯罪発生時
正確な情報の収集や事態の把握

3. IT人材の流出・不足

- 優秀な人材→IT環境の整った国
- ▼
- 国としてのIT環境の整備と教育

2. デジタル・デバイドによる問題

4. 高齢者の孤立化

- 情報通信インフラが整っていない地域で生活
- IT端末を所持していない



限られた情報しか得ることができない

2. デジタル・デバイドによる問題

4. 高齢者の孤立

令和4年度版高齢社会白書（概要版）（4）情報機器の利用内容について

「情報機器を使わない」17.0%

「情報機器を使わない」**10.3%**

「生きがいを十分感じている」



「電子メールで家族・友人などと連絡を取る」
「インターネットで情報収集やショッピングをする」
「SNSなどを利用する」
30%超

2. デジタル・デバイスによる問題

解決方法

- ICT活用サポート
- 端末・コンテンツのユニバーサル化
- 地方部IT人材を増加
- ネットリテラシーの習得
- 無料利用できる端末の設置

3. 解決方法

◆ シニア層のICT活用サポート

- 携帯ショップでのセミナー開催
- 使いやすい機器の開発
- 自治体による相談会の開催

◆ コンテンツのユニバーサル化

- スマートスピーカー
- スマートウェアラブルデバイス
- ユニバーサルデザインを採用したWEBサイト

3. 解決方法

◆ 地方IT人材の増加

- ITスキルが学べるスクールなどの仕組みの確立
- 地域へのIT企業進出

◆ ネットリテラシーの習得

- 特定のSNSだけを閲覧
- 別メディアからの情報を見ない

3. 解決方法

◆無料利用できる端末の設置

- IT端末を公共スペースに設置
- Wi-Fi環境やタブレットの貸し出し

3. 解決方法

学習のまとめ・ポイント

- ◆ デジタル・デバイド：情報格差
- ◆ デジタル・デバイドの要因：社会的要因
- ◆ 情報弱者を作らない社会の構築

参考

- ・ 外務省 IT（情報通信技術）「デジタル・ディバイド」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/it/dd.html>

- ・ 三菱電機ITソリューションズ株式会社「デジタルディバイドとは？情報格差が誘発する問題と解決方法」

https://www.mdsol.co.jp/column/column_123_2183.html

- ・ 内閣府 令和4年版高齢社会白書（概要版）（PDF版）第3節

<https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/gaiyou/pdf/1s3s.pdf>

- ・ 総務省 令和4年情報通信に関する現状報告の概要 第8節

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nd238110.html>

全て令和5年5月22日最終閲覧